

当初、2021年2月14日(日)に兵庫県赤穂市の関西福祉大学にて現地開催の予定でしたが、新型コロナウイルスの終息が見通せないため、開催形式を変更しました。

参加者は現地開催と比べて少数でしたが、東は関東地方から、西は中国・四国地方まで、県外の方を含めて146名の方の参加登録がありました。また、Web開催により開催費用を削減でき、参加費を引き下げて登録していただくことができました。さらに、オンデマンド形式でしたので参加者はいつでも自由に演題を視聴でき、ある意味で歴史に残る兵庫支部学術集会となりました。

コロナ禍にも関わらず本学術集会のためにご尽力、ご協力を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

第18回京滋支部学術集会

学術集会会長：長浜赤十字病院院長 楠井 隆

2021年8月21日に、第18回京滋支部学術集会をオンラインで開催いたしました。今回のテーマは「病院づくり、街づくり、人づくり ～超高齢化社会を見据え～」とし、60名の方に参加いただきました。

特別講演は、藤田医科大学学長・藤田医科大学病院院長の湯澤 由紀夫先生による「地域医療連携推進法人「尾三会」の設立と今後の課題」、福井大学医学部地域プライマリケア講座教授で、まちづくり系医師としても活躍の井階友貴先生による「これからの医療を支える健康のまちづくりとそのプリンシプル」をご講演いただきました。

特別講演に加え、6病院より提供された新型コロナウイルス感染症のクリティカルパスの情報共有を実施した他、一般演題4演題をホームページに掲載いたしました。コロナ禍で例年通りとはいきませんでした。充実した学術集会になったのではないかと考えております。

最後になりますが、ご協力いただきました皆様に、心よりお礼申し上げます。

第17回鳥取支部学術集会

学術集会会長：鳥取県立厚生病院院長 皆川幸久

「地域の多職種による密な医療連携」をテーマに、第17回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会を2021年9月4日(土)に開催し9月30日(木)までの期間Web誌上にて供覧する異例の形式となりました。開催直前まで集合形式の学術集会の準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染第5波が鳥取県をも直撃し、このような誌上開催となりました。コロナ禍の状況にあっても各医療機関から46題の演題登録をいただき、全発表の詳細をWeb公開いたしました。Webアクセス件数は652件あり、多数のご参加をいただいたものと感謝申し上げます。初端に取り上げたタイムリーなテーマが「コロナ禍院内感染対策」であり、他施設

設での感染対策対応を熱心にご覧になったものと想像いたします。メインテーマの「院内チーム医療の密な連携」、「地域医療圏域の密な医・歯・薬連携」二つはシンポジウムとして計画したことより、医師、歯科医師、看護師、介護士、薬剤師、社会福祉士、理学療法士、臨床検査技師、放射線技師、栄養管理士、医療事務職員、医療助手など正に多職種のご参加をいただきました。加えて総合病院から介護施設、個人開業医療施設に繋がりを持ち地域に根付いた関係者間での誌上交流ができたものと喜んでおります。来期にはコロナ感染の収束が叶い、集会集合形式の学術集会開催を切に願います。

第16回広島支部学術集会

学術集会会長：広島赤十字・原爆病院院長 古川善也

広島県支部では、2021年9月9日(木)に第16回学術集会をZoomによるオンライン・セミナー形式で開催しました。当日は255名の参加を頂きました。今回は教育セミナーとして、「看護教育、認定看護師制度、特定行為研修」をテーマに、以下の4名の方からご講演を頂きました。

まず山本恭子氏(広島県看護協会会長)より、特定行為に係る看護師の研修制度について説明して頂きました。次に、特定行為研修の普及にとって必要な医師の業務・意識改革の必要性について、平林直樹氏(安芸太田病院院長事業管理者)にご講演頂きました。続いて、救急医療の視点から見た看護師の特定行為について、国島正義氏(呉医療センター・中国がんセンター)にご講演頂きました。最後に、在宅医療の視点から見た看護師の特定行為について、岡崎 眞由美氏(日本鋼管福山病院)にご講演頂きました。

開催にあたってご協力くださった関係各位の皆様には心より感謝申し上げます。開催の報告とさせていただきます。

第11回愛媛県支部学術集会

学術集会会長：社会福祉法人恩賜財団済生会松山病院 院長 宮岡弘明

2021年9月25日(土)、済生会松山病院において第11回日本医療マネジメント学会愛媛県支部学術集会が新型コロナウイルス感染症対策のためWebにて開催されました。

「新型コロナウイルス感染症対応」をテーマに掲げ、県内各地から134名(学会会員98名、学会非会員36名)の参加をいただきました。

今回、特別講演はトヨタ記念病院院長 岩瀬三紀先生にお願いし、「TOYOTA WAYの医療における実践とカイゼン」と題して講演をいただきました。

一般演題は午前午後の5セッションで20演題の発表があり、愛媛県下の多くの病院の取り組みが紹介され活発な討論が行われました。